令和４年度第３回旭川方面留萌警察署協議会議事概要

１　開催日時

令和４年12月13日（火）　午後４時15分から午後５時30分まで

２　開催場所

旭川方面留萌警察署会議室

３　出席者

⑴　協議会委員　　６人（定員６人）

会　　長　　居原田　隆夫
副　会　長　　岩倉　健悟
委　　員　　佐藤　深雪、櫛井　俊介、南　明恵、村上　仁美

⑵　警察署員　　10人

署　　長　　屋代　芳彦
副　署　長　　石前　範幸
警務課長　　大賀　光一郎（事務局）
会計課長　　石田　直人
生活安全課長　　渡辺　　諒
地域課長　　小幡　慎司
刑事課長　　山本　真也
交通係長
警備課長　　水戸　康博
警務係長

４　開催概要

⑴　会長挨拶

⑵　署長挨拶

⑶　留萌警察署業務推進状況説明

ア　刑法犯・特別法犯の発生検挙状況（概況）
　○　刑法犯の発生・検挙状況（身近な犯罪を含む）
　○　道民が不安を感じる身近な犯罪の発生状況（警察本部重点犯罪）
　○　特別法犯の検挙状況

イ　交通事故の発生状況
　○　人身事故の発生状況等
　○　交通事故抑止対策

⑷　テーマ説明

特殊詐欺の発生状況と被害防止対策について

⑸　質疑

ア　特殊詐欺の被害防止対策について

委員：　特殊詐欺の被害者の中には、「私は騙されない」「私は大丈夫」と思っている人もいたとの説明があった。私も自分は大丈夫と思っていたが、今後は「犯人は騙しのプロ」「自分はアマチュア」だと思って備えをしたい。具体的にどのような点に注意すべきか。

警察：　犯行グループは、様々な方法で住所、氏名、生年月日等の個人情報を入手していると思われるので、既に自分の情報が漏れているとの前提で対応をお願いします。最近は、オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺が増えていますが、他にも様々な手口があるので、１つの手口に備えても全ての被害を防ぐ事はできません。電話でお金を要求してくるのは怪しい、知らない口座への振込を求めるのは怪しいなど、不審点に気付いていくことが大切です。お金の話は一人で決めず、家族や＃９１１０などの警察相談電話に相談して下さい。

委員：　＃９１１０や注意すべき点については理解した。自分の家族や職場、近所にも声掛けをしたいと思う。

イ　ＮＴＴの電話帳について

委員：　ＮＴＴの電話帳が配布されており、その電話帳に名前を載せているからなのか、いろいろな人から電話が架かってくる。今の時代、そういうものに、個人の電話番号を載せない方が良いのではないか。

警察：　今、ＮＴＴでは、個人の名前を載せた電話帳は配布しておりませんが、過去に配布された電話帳は残っているかも知れません。犯人グループは、名簿を調達するなど、いろいろな方法で個人の名前や電話番号等の情報を入手しているので、ＮＴＴの電話帳に名前が載っていないからといって被害に遭わないということにはなりません。

委員：　ＮＴＴの電話帳に名前が載っていないから被害に遭わないという先入観は持たないようにする。

ウ　知らない電話番号からの着信について

委員：　知らない電話番号から着信があったら、絶対に出ないと思っているが、いざ着信があると、もしかしたら仕事の連絡かも知れないと思い、電話に出てしまう事もある。何か良い対策はあるのか。

警察：　犯人と電話で話さないことが何より重要ですので、在宅時でも留守番電話に設定しておき、留守番電話サービスの伝言メッセージで相手を確認してから電話に出る、電話に防犯機器を取り付ける、登録した電話番号以外は着信拒否の設定をするなどの対策をして下さい。信用できる電話番号とほかの電話番号を別々に登録しておく事により、着信時の表示方法や着信音を分ける機能付きの電話機もあります。電話機は機種により様々な機能がありますので、購入を検討する際は、家電量販店などに確認して下さい。

委員：　犯人と話さないことが大事なのは理解した。古い電話機やナンバー表示のない電話機を使用している高齢者もいるので、そういった方々にはアドバイスをしたり、＃９１１０を利用するよう教示したい。

エ　オレオレ詐欺や架空料金請求詐欺の増加について

委員：　以前からあるオレオレ詐欺や架空料金請求詐欺の被害が、最近になって

増えているのはなぜか。

警察：　オレオレ詐欺の被害者は高齢者が多く、息子や孫などの親族、警察官や弁護士等を名乗る電話が架かってきて、「示談金が必要」などと言う事例が散見されます。また、架空料金請求詐欺は、アダルトサイトの有料動画の未納料金があるなどと言って振り込みを求める手口もあります。被害の増加要因は必ずしも明確ではありませんが、これらは他人に相談しにくい内容という点が共通しております。繰り返しになりますが、電話でお金を要求して来たり、知らない口座への振込を求められたら、大切な自分のお金を守るため、恥ずかしがらずに、警察や＃９１１０へ相談して下さい。

委員：　私自身、家族の声は絶対に間違えないという自信を持っていたが、先ほど、犯人との生のやりとり音声を聞いて、言葉巧みな犯人の方が一枚上だなと思いました。声だけで家族であると信用せず、合い言葉を決めたり、電話を一旦切って、知っている電話番号に折り返すなどをしたいと思います。

⑹　次回の開催予定

次回は、令和５年２月頃に開催を予定している。

テーマについては、「冬の交通事故の特性と対策について」です。